

革新事業創造戦略のフォローアップの狙い

- 2022年12月の戦略の運用開始から3年目をむかえるにあたり、改めて戦略の目指す姿に立ち返り、現状の成果と課題を分析
- **目指す姿と現状のギャップ埋めるべく、戦略のフォローアップを実施**

戦略の 目指す姿

- 民間からの提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図る**官民連携プロジェクトの創出**

- **絶え間ないイノベーションを創出する推進体制**を整え、様々な政策分野においてイノベーション創出の芽を矢継ぎ早に生み出していく

- 革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）による**自律的な（システム・事務局・イベント等を通じた）オープンイノベーションの促進**

戦略の目指す姿と現状のギャップを埋めるべく、フォローアップを実施

現状・ 課題

- 官民共同：2件
 - モビリティ
→2023年3月の戦略会議で選定
 - スポーツ
→2023年11月の戦略会議で選定
 - 地域に根差した課題(市町村等の課題やニーズ)を解決するPJの創出ができていない

- 民間主導：9件
→2023年7月の戦略会議で選定
 - 補助金を活用して事業を推進

- 官民共同の推進体制
 - モビリティ
→2023年5月にPT設立
 - スポーツ
→2024年6月にコンソーシアム設立
 - 2024年10月にオープンするSTATION Aiとの更なる連携強化
 - 支援機関(市町村・金融機関・商工会議所・経済団体)を巻き込んだイノベーションの創出が不十分である

- 民間主導の推進体制
 - 補助金支給以降の社会実装に向けた支援体制が確立されていない

- A-IDEAの活用状況(2024年5月31日時点)
 - 会員数：568名
 - アイデア数：131件
 - 技術・研究シーズ数：259件
 - 支援施策：200件
 - プレーヤー同士のマッチングにまでつながった件数が少ない

- イベントの実施状況
 - 年3回(計192名参加)
 - 開催できる回数に限りがあるため、A-IDEAの認知向上や官民連携の機運醸成・ネットワーキングの機会が不十分である

- 実績
- 課題

想定されるフォローアップの方向性

- 戦略の目指す姿の実現にむけて、①幅広い「官民連携」の道筋づくり、②STATION Aiや市町村など様々な支援機関との連携強化、③民間主導案件の社会実装までのフォローアップ、④マッチングプロセスの見直し等が想定される。

今後の方向性 [取組例]

- 市町村と民間企業とのオープンイノベーションによるソリューション・プロダクト開発に向けた施策の創設

- STATION Aiをはじめ、イノベーション創出に関連する県機関との連携促進
- 支援機関(市町村、金融機関、商工会議所、経済団体等)が実施する支援施策のA-IDEAへの掲載促進
- 補助金交付先への社会実装までの進捗状況の確認等

- フォローアップの内容に基づき、マッチング促進等を目的としたA-IDEAのUI/UXの改修
- 他の支援機関が実施するイベントをA-IDEAに登録し、A-IDEA会員への周知を図ることによる支援機関とのシナジーの創出

スケジュール

- 第1回戦略会議では、戦略の現状と課題のギャップについて課題を抽出する。
- 第2回ではフォローアップの方向性を決定し、第3回でフォローアップの取組内容を確定する。

【第1回 戦略会議】

【課題の抽出】

- 戦略の現状と課題のギャップを整理
- 委員の意見聴取(ギャップの改善に向けての重要な視点や助言)

【第2回 戦略会議】

【方向性の決定】

- 委員の意見を踏まえた方向性の決定
- 方向性に基づく取組内容の検討

【方向性の検討】

- ・ 委員からのご意見
- ・ 市町村へのアンケート調査
- ・ 他都道府県の先行事例調査 など

【第3回 戦略会議】

【フォローアップの取組内容の確定】

- 決定した方向性に基づき取組内容の確定
- 施策実施に向けた助言

【取組内容の検討】

- ・ 予算要求
- ・ 関係機関への依頼、各種調整 など